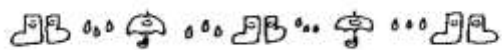


発行 2018.6

## えーる油山 ニュース



多機能型障がい福祉サービス事業所 えーる油山

(管理者 小関正利・発行者 竹下真子)



福岡市城南区東油山 1 丁目6-39

TEL092-834-8900/FAX092-834-8910

E-mail:e-ru@sage.ocn.ne.jp

https://www.facebook.com/ashinoie/

## 施設長トーク いい加減さの効用

最近、某生命保険会社が毎年行なうサラリーマン川柳コンクールの発表が行なわれた。第1位が『スポーツジム 車で行って ちゃりをこぐ』第2位が『「ちがうだろ！」妻が言うなら そうだろう』第3位が『ノーメイク 会社入れぬ 顔認証』第4位が『効率化 進めて気づく 俺が無駄』・・・何ともユーモラスでやわらかい頭の持ち主が考えた川柳であろう。一方で、几帳面で心配性な人もいる。心配が増幅して当人の手に負えなくなると、日常生活に支障をきたすことになる。例えば、会社に出勤してから「鍵は閉めてきたかな?」「ガスの日は消してきたかな?」「部屋の電気は消してきたかな?」・・・これは誰にでもあるだろうが、一過性の心配で時間がたてば忘れてしまっていることが多い。しかし、悩みだしたら仕事どころではなく家に帰って確認しなければならないことが度重なるたまに日常生活に支障がないとは言えない。困っているなら強迫性障害と診断され治療が始まるわけである。治療法としては、カウンセリングを柱に認知行動療法というアプローチが始まることが多いそうである。強迫性障害になる人は、「これがいい」と言われると、そればかりに打ち込む傾向があるそうである。因みに軽いジョギングから始めればよいのに、急にマラソンを始め、思うように走れないと不安に支配されることになる。つまり、「いい加減」という考え方を持つことが苦手なわけだ。この「いい加減さ」は、時に人間を楽しみし、人生を楽しむことができる効用があるわけで悪いことではないということだ。時には、「いい加減さ」を試してみてもいいか。もちろん信用を失わないことは重要な要素ではあるが。

多機能型障がい福祉サービス事業所えーる油山 管理者 小関 正利

## 畑かきCHANNEL



玉ねぎの収穫を行ないました。今年は早生・晩生合わせて700個程の玉ねぎが採れました!採れた玉ねぎは地域の方や保護者、葦の家の昼食用に販売しました。甘みがあって美味しい〜と皆さん喜んで頂けました。玉ねぎの他にグリーンピースやにんにくの収穫もしました。にんにくを洗って、薄皮を剥いたのですが、初めて体験する仲間がほとんどで、貴重な経験となりました。収穫した後はナスやきゅうりの植え付けを行ないました!成長するのが楽しみです☆(支援員 竹下)

## ☆どんたくバザー☆

5月3日・4日に開催された博多どんたく港まつり「城南区演舞台」に出店してきました(\*^\_^\*)天候も良く、たくさんのお客様がご来店されました♪今治タオルもたくさん売れており、2日間を通して29,710円の売り上げになりました!(支援員 大坪)

## ♪油山クリーン作戦♪

仲間・保護者・職員合わせて6名参加しました。歩きながらゴミを拾っていくのですが、暑すぎず、寒すぎず、丁度いい気温だったと思います。また保護者の方とお話できる良い機会でもありました(^\_^)登り終わった後のかしわご飯美味しかったです!!(支援員 坂本)

## ◇6月の予定

7日 ハローデイ春日店バザー  
12日 ハローデイ橋本店バザー  
14日 ハローデイ姪浜店バザー  
21日 ハローデイ周船寺店バザー

28日 ボンラパス薬院店バザー  
12、14、19日 仲間健康診断

特別支援学校の実習生を受け入れます。

